

(様式3) 休眠預金等活用事業 支援対象活動計画書 (詳細)

2023年度 活動支援事業
ジャパン・プラットフォーム 災害に対応できる民間支援団体の増加と基盤強化事業

※記入に当たっての注意事項: 入力スペースは適宜ご調整いただいてかまいません。

団体情報

団体名	(法人格)団体名(略称) 特定非営利活動法人パルシック						
団体概要	設立趣旨書の目的・事業内容なども含めて記載してください 紛争や災害などの苦難にある人びとに対して、かれらが日々の暮らしを取り戻すために国家の壁を越えて支えあう「民際協力」と、それとリンクして対等な関係を築くための「フェアトレード」の推進を、主たる目的として2008年に設立。「民際協力事業」では、緊急支援(能登地震、東ティモール、トルコ、シリア、ガザ)、難民・国内避難民支援(パレスチナ、シリア、レバノン、ミャンマー)、農業復興・女性生計支援(パレスチナ、シリア、ミャンマー)、居場所づくり(東京都葛飾区)を実施、「フェアトレード事業」では、地元の人びとの経済的自立を支援し、有機産品生産の支援(東ティモール、スリランカ)を実施。また、フェアトレードのコーヒー豆、紅茶などを輸入販売している。						
これまでの主な事業 ※適宜、行を増やしてください	主な事業名	碑益者属性		碑益者数			
	東ティモール「洪水で被災した人びとへの緊急物資配布」(2020年)	ディリ市民		650世帯			
	東ティモール「東ティモール豪雨緊急支援」(2021年4月-2022年6月)	ディリ市民		540世帯			
	東ティモール「コーヒー生産者支援」(2002年-現在)	コーヒー生産者組合		約900世帯			
	東ティモール「アグロフォレストリー事業」(2019年4月-現在)	コーヒー生産者組合		約130世帯			
	東ティモール「アイナロ県マウベシ郡でのコーヒー畑改善事業」(2019年11月-現在)	コーヒー生産者組合		約300世帯			
	スリランカ「デニヤヤ小規模紅茶農家支援」(2011年4月-現在)	紅茶農家		70世帯			
	パレスチナ「ガザ地区酪農を通した女性グループの生計支援」(2018年1月-2022年2月)	女性世帯		50世帯			
	パレスチナ「ガザ地区における被災住民への緊急支援」(2023年11月-現在)	国内避難民		6,000世帯			
	ミャンマー「緊急支援」(2021年10月-2022年7月)	ミャンマー国民		1,226人			
	ミャンマー「国内避難民への物資配付および教育支援」(2022年8月-現在)	子ども及び教師		2,883人			
	レバノン「シリア難民への食糧・越冬支援」(2016年12月-現在)	シリア難民及びホストコミュニティ		約11,800人			
	レバノン「シリア難民への教育支援」(2017年4月-現在)	シリア難民の子ども・教師及びホストコミュニティ		2,577人			
	シリア「シリア国内避難民・帰還民の生活再建支援」(2019年4月-現在)	シリア国内避難民、帰還民		397世帯			
	トルコ・シリア「地震被災者支援」(2023年2月-2024年9月)	地震被災者(トルコ、シリア)		58,520世帯			
	日本「居場所づくり事業(コミュニティカフェ「みんかふえ」)」(2018年6月-現在)	地域住民					
	能登地震「奥能登地域における避難所及び在宅被災者の生活環境改善支援」(2024年1月-2024年6月)	被災者(能登町、輪島市を中心)		2,857世帯			
法人設立日	2002年5月13日	会員数	126	役員数	9	職員数	24
団体所在地	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル						
当該プログラムのご担当者 ※複数名の場合、行を増やしてください	ご氏名	メールアドレス(PC)		電話番号			
	西森 光子	minsai@parcic.org		03-3253-8990			
	家田 愛子	minsai@parcic.org		03-3253-8990			
	(団体での役割、非営利分野での活動年数、災害支援のご経験(あれば)など) 西森:2010年11月に入職後、スリランカ駐在を経て東京事務所勤務(東京事務局長/民際協力・教育担当) 家田:2024年8月入職。ミャンマー洪水被災者支援、能登地震被災者支援事業の東京事務所担当。						

貴団体の活動分類はどれにあてはまりますか？(該当するものに○)		
	A. 非災害支援団体(災害支援経験なし)	
○	B. 非災害支援団体(災害支援経験あり)	
	C. 災害支援団体	
災害支援経験ありの場合 (上記B.C.に該当) ※複数あれば行を増やしてください	対応災害名	能登半島地震・豪雨災害
	実施内容	物資配布と公民館や避難所でのカフェ運営。 仮設住宅入居者への家電購入支援。 能登町内での居場所づくりの運営。
	実施期間(日数・月数等)	2024年1月28日～現在
	対応災害名	ミャンマー 東南アジア水害被災者支援
	実施内容	物資と食糧の配付
	実施期間(日数・月数等)	2024年10月21日～2024年12月20日
	対応災害名	トルコ南東部シリア北部地震
	実施内容	「トルコにおける地震被災者への食糧及びNFI支援」 「トルコにおける農村地帯の地震被災者への食料、NFI及び生活改善支援」 「カフラマンマラシュ県郊外の農村部における越冬支援」 「シリアにおける地震被災者への家屋修繕支援」 「シリア北西部における水・衛生支援」
	実施期間(日数・月数等)	2023年2月15日～2024年4月30日(14.5カ月)
特記事項など(何かあれば)		

支援を受けたい内容(該当に○)		課題意識や要望について
○	1.規程類の整備	整備しておくべき規定類と現在の団体にある規定類との照らし合わせ、その結果不十分な箇所の修正や新たに必要規定類を整備し、団体の透明性の高い運営を可能にし、組織の基盤強化を行いたい。
○	2.災害に関する事業計画立案	すでに災害支援の経験があり、事業計画立案についても実施してきたが、改めてポイントとなることや手法を学び、今後の災害支援実施時に生かしたい。
○	3.災害支援に関わる社会的インパクト評価	休眠預金活用事業における事業に対する社会的インパクト評価について知り、今後事業を形成、実施する際のポイントを学びたい。

※支援内容・期間等については、詳細面談後に決定させていただきます。

団体財政状況について

前期決算額	752,342,043円	
事業費	729,074,751円	96.90%
管理費	23,267,292円	3.10%
委託費	0円	%
受入寄付額	43,518,894円	
負債	21,537,855円	

当該プログラムへの申請理由

災害対応準備理由	申込み経緯(考えている災害リスクや自団体が災害に取り組む必要性、所在地域での役割や、他地域での活動の有用性など)	
	国内外で災害支援を行ってきた当団体の知見や経験を活かし、今後国内で災害が起きた際にスムーズに活動を開始するために休眠預金活用事業を利用できるよう準備をしておくことが重要であると考えたため。また災害対応時の事業形成についてのポイントや社会的インパクト評価などを学ぶことでよりよい事業形成を可能にしたいと考えたため。	
想定する災害時の活動	対象地	事業内容
	日本国内	食糧・物資配布 被災者の生活再建支援

災害対応準備完了後の活動の見通しについて

活動意向	活動予定内容	資金調達について
団体所在地内における災害	・食糧・物資配布 ・避難所や仮設集会所などでのカフェ企画(「居場所」の提供) ・サロン活動やイベントを通じた被災者の孤立化を防ぐ取り組み	助成金 自己資金
隣接県での災害	・食糧・物資配布 ・避難所や仮設集会所などでのカフェ企画(「居場所」の提供) ・サロン活動やイベントを通じた被災者の孤立化を防ぐ取り組み	助成金 自己資金
遠隔地での災害	・食糧・物資配布 ・避難所や仮設集会所などでのカフェ企画(「居場所」の提供) ・サロン活動やイベントを通じた被災者の孤立化を防ぐ取り組み	助成金 自己資金

支援終了後に期待する効果、将来像、ビジョンなど

災害発災時に休眠預金を活用して直ちに質の高い災害支援を行うことができるようになっている。
 そのために、休眠預金活用事業へ応募できるために、団体の規程類の整備ができており、組織運営の中にこれらのルールが活かされ、健全で透明性の高い運営ができている状態になっている。

災害対応事業では、当団体がこれまでも実施してきた、支援が十分に届いていない避難所や在宅被災者に必要な物資や支援を届ける「御用聞き」活動やサロン活動をより迅速に行い、細やかなニーズに直ちに対応できる力を付ける。

また事業形成においては、団体自身の既存のノウハウを生かし、かつ事業計画立案のポイントや社会的インパクト評価など本支援事業を通して学んだ点を取り入れ、より質の高い被災者支援事業ができるようになる。